

「SDGsを学ぶための研修」の開催(ご案内)

「SDGs」には「17のゴール」が設定されており、そのゴールの下には「169のターゲット」と「232の具体的な指標」を定めています。

開発途上国を含む国際社会全体で、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた取組みが進められています。

今回、損保会社のご協力をいただき「SDGs de 地方創生カードゲーム」を用いて、SDGsの考え方を理解することを目的に下記のとおり研修を開催します。

記

1 日 時 令和4年6月8日(水) 13:30~16:30(予定)

2 場 所 鹿児島県トラック研修センター 2階 大講堂

3 内 容 (1) イントロダクション(SDGsとは。)
(2) ゲーム説明・ゲームプレイ
(3) 振り返り
講師:東京海上日動火災保険(株)
ご担当者

4 受講対象者 管理者・従業員等

5 定 員 30名

※新型コロナウイルス感染防止及び申込状況により、複数人数で申込みの場合は、1名に変更させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

6 参加申込 下記参加申込書をご記入の上 FAX(099-261-3113)または右記QRコードから5月20日(金)までにお申込みください。



カードゲームの流れ

架空の「まち」を舞台に、参加者は、「行政担当者」または「住民」として参加します。行政担当者には毎ターン予算が配られ、まちを良くすることをゴールとして提示されます。まちで活動する市民には、一次産業従事者や、まち工場の経営者、一市民など様々な役が与えられます。使える予算は限られています。代わりに普段の活動を満喫して得られる人脈があります。どのように活動し、まちに働きかけていくか。それは参加する1人ひとりに委ねられています。

SDGs de 地方創生ゲームでは、まちの状態は「人口」「経済」「環境」「暮らし」という4つの指標で表されます。何も具体的な対策をしないしていると、人口は徐々に減少を始めます。経済はまちの財政に影響を与え、豊かか、暮らしやすいまちでなければ、様々な施策をしても十分な効果を発揮しません。

20年後も豊かに過ごせるまちとなるのか、それとも残念ながら消滅可能性が高い都市になるのか、それはゲームに参加したプレイヤーひとりひとりの行動によって千変万化。あなたの参加するまちは、前進をしているでしょうか？それとも衰退を続けているまちでしょうか？残された時間は限られています。

1. 人資源・お金・情報を交換し、プロジェクトを実行する
2. プロジェクトの実行を重ね、個人のゴールを達成する
3. 参加者全員で、地域のゴールを達成する

「SDGsを学ぶための研修」参加申込書

会社名	
連絡先	TEL: FAX:
申込者名	(役職) (氏名)

(公社)鹿児島県トラック協会 労働・環境課宛て FAX: 099-261-3113

